



鳥 議 第 3 3 8 号
令 和 4 年 9 月 2 7 日

鳥羽市長 中 村 欣一郎 様

鳥羽市議会議長 木 下 順 一



予算決算常任委員長 世 古 安 秀



令和5年度予算編成に対する提言書

去る9月会議において、令和3年度鳥羽市一般会計及び各特別会計並びに企業会計の決算審査を行いました。

例年と同じく4日間をかけて決算審査するとともに、議員間討議を実施したところ各委員からの提案、意見は29項目に及びました。

この29項目の意見等から予算決算常任委員長報告においても述べたとおりコロナ禍における各課の取り組みについては、高く評価できるものが多くあり、今後においても市長をはじめ、職員の更なる努力に期待するところであります。

そこで、様々な分野における意見の中から、市が目指すべき姿を実現させるための事業の更なる進展を願い、市議会として下記の5点について提言いたします。

記

1. 令和3年度決算は、新型コロナウイルス感染症の対策で様々な経済対策を行っており、良好な結果となっている。今後の先行きが見通せない中で、これまで以上に自主財源の確保に力を入れていかなければならず、ふるさと納税や公有財産の活用など各事業の拡大に努められたい。
2. 市道の維持管理については、町内会からの要望を十分に満たしておりません。市は維持・補修を含む道路関連の予算を拡充し、道路管理者として安全安心な道路管理に努められたい。
3. ICT 教育関連設備については、導入に係る費用のほか、機器の更新費用や学習・管理ソフトウェア、機器のサポート等のランニングコストについても今後増大してくことが見込まれる中、これらの費用を市が単独で負担するのではなく、国や県に対しても費用負担を求めるよう努められたい。

4. 若い人や子育て中の方への移住定住に対する応援事業に積極的に取り組み、活気あるまちづくりに努められたい。
5. 市民の幸せの実現のため、市民サービスと業務生産性の向上を目指し、スマホやマイナンバーカードの活用を始めとする DX 事業を全庁的に推進されたい。